

供花料編

Ⅲ 学校の管理下の供花料支給対象の死亡の状況

◇ 学校の管理下の供花料支給対象の死亡の発生件数

「供花料支給対象の死亡事故」の発生件数の内訳は、表－３に示すとおりである。

表－３ 供花料支給対象の死亡の発生件数

		小学校	中学校	高等学校	高等専門学校	幼稚園	保育所	合計	
各教科	理科							0	
	図画工作・美術							0	
	技術・家庭							0	
	農業							0	
	工業							0	
	保健・体育	水泳	1					1	
	総合的な学習の時間								0
	自立活動								0
	音楽								0
	生活科		1						1
特別活動	学級活動	ホームルーム						0	
	児童会・生徒会活動							0	
	体育的クラブ活動	水泳						0	
	文化的クラブ活動							0	
	生産的クラブ活動							0	
	その他								0
学校行事	儀式的行事							0	
	学芸的行事							0	
	健康安全の行事							0	
	体育的行事	運動会・体育祭			1			1	
		ウォークラリー			3			3	
	遠足・集団宿泊の行事							0	
	勤労生産・奉仕の行事							0	
その他							0		
課外指導	体育的部活動	球技	バスケットボール	1				1	
	文化的部活動	吹奏楽部			1			1	
	生産的部活動							0	
	水泳指導							0	
	その他							0	
休憩時間	休憩時間中		2					2	
	昼食時休憩時間中							0	
	始業前の特定時間中							0	
	授業終了後の特定時間中							0	
	その他							0	
寄宿舎				1				1	
技能連携								0	
通学(園)中	登校(園)中	徒歩	1		2			3	
		自転車	1	1	7			9	
		原動機付自転車			1			1	
		自家用車			2			2	
	下校(降園)中	徒歩	3	1	3			7	
		鉄道			1			1	
		自転車		2	7			9	
	通学に準ずるとき		鉄道			2			2
合計		9	5	31	0	0	0	45	

1 小学校における供花料支給対象の死亡の事例

〔Ⅰ〕各教科

(1) 体育

水 泳

事例1	小6年・男	溺 死
-----	-------	-----

体育の水泳指導中、本児童の身体に何らかの異変が起き、水中に沈みかけているところを友人が見つけてかかえあげたが、意識がなく心臓停止と呼吸停止状態であったので、心肺蘇生を行いながら救急車を要請し、病院へ搬送した。治療の結果、心臓の動きが回復したので設備の整っている病院へ転院し、集中治療室で治療を受けていたが、意識は戻らず後日死亡した。

(2) その他の教科

生活科

事例2	小2年・男	頭部外傷
-----	-------	------

生活科学習で公園と川でザリガニ釣りをを行った。反対側の公園に置いてあった荷物を取りに戻ろうと、道路を横断中、軽自動車に撥ねとばされ、全身と頭部を強打し倒れ意識を失った。事故後、救急車にて病院へ搬送。救急処置を受けたが、頭蓋内及び胸腔内臓器損傷のため、死亡した。

〔Ⅱ〕休憩時間

(1) 休憩時間

事例3	小4年・男	頭部外傷
-----	-------	------

休憩時間中、校庭で友達とドッジボールをしたが、外野にいた本児童は、ボールを追って裏門の外へ出たところ、左方向から来た車両と衝突した。事故を目撃した高校生が、救急車を要請した。ドッジボールをしていた児童が職員に連絡し、すぐに職員が現場に急行し、救急車が到着するまで可能な限りの手当てをした。救急車で病院に搬送されたが、2時間後死亡した。

事例4	小2年・男	溺 死
-----	-------	-----

休憩時間中に学校菜園で遊んでいたところ、土を払おうと足を振った拍子に靴が脱げて川に落ちてしまった。友達が靴を取ろうとしたら川に転落してしまい、それを助けようとした本児童も川に転落した。川の深みにはまって溺れてしまい死亡した。

〔Ⅲ〕通学中

(1) 登校中

徒 歩

事例5	小6年・男	頭部外傷
-----	-------	------

徒歩にて登校中、前から走ってきた車に撥ね飛ばされ、道路脇の側溝に落ち、頭部を側溝に強く打ちつけた。直ちに救急車にて総合病院に搬送され、I C Uにて治療を受けていたが、死

亡した。

自転車

事例6	小6年・女	全身打撲
-----	-------	------

金管部の練習に参加するため、自転車で学校に向かっていたが、交差点の横断歩道を渡っていた際、右方向から来た大型トラックに撥ねられた。事故を目撃した児童より報告を受け、校長、教頭をはじめ職員室にいた職員が現場へ駆けつける。15分後に救急車が到着したが、損傷が激しく動かせる状態ではなく、ドクターヘリの到着を待った。ドクターヘリが到着し、医師が事故現場に駆けつけたが、その場で死亡診断された。

(2) 下校中

徒 歩

事例7	小1年・男	頭部外傷
-----	-------	------

下校中、交差点で右方向からの車3、4台をやり過ぎて横断歩道を渡っていたが、左方向からの車に撥ねられた。救急車で病院に搬送され治療を受けたが、死亡した。

事例8	小1年・男	頭部外傷
-----	-------	------

下校途中、横断歩道を渡っていた際、直進してきた車にはねられた。事故直後、たまたま居合わせた他の児童の保護者から連絡を受け、教頭と担任が現場に向かった。その後、救急車で病院に搬送され治療を続けたが、約3週間後に死亡した。

事例9	小1年・女	頭部外傷
-----	-------	------

下校中、道路を横断しようとした際、後方から来た大型ミキサー車にはねられた。救急車で病院に搬送されたが、死亡した。

2 中学校における供花料支給対象の死亡の事例

〔I〕 課外指導

(1) 体育的部活動

球 技

バスケットボール

事例10	中1年・男	熱中症
------	-------	-----

当日、本生徒は体育館（3階）において、バスケットボール部の練習を行っていた。4階ギャラリーを数周走り、3分間のゲームを30分ほど行った。その後、本生徒はタイムキーパーの仕事をしてしたが、具合が悪いと言って交代し、水を飲んだところ嘔吐してしゃがみこんだ。顧問教諭が気づき、他の生徒に涼しいところに移動させるよう指示したが、約5分後、名前を呼んでも返事をしないと連絡があり、状況を確認後、すぐに母親に連絡を取った。数回嘔吐したので、嘔吐物が喉に詰まらないようにし、母親到着後、母親の車で医療機関へ搬送した。医療機関では、脱水症状で重い意識障害のある熱中症と診断され、集中治療室で治療が行われたが、後日死亡した。

〔Ⅱ〕通学中

(1) 登校中

自転車

事例11	中1年・男	内臓損傷
------	-------	------

自転車で通学中、国道西側歩道から町道へ入ろうと国道を横断した際、北進してきたトラックと衝突し腹部を強打し死亡した。

(2) 下校中

徒歩

事例12	中2年・女	頭部外傷
------	-------	------

通常の通学路を徒歩で自宅に向かって下校中、道路の右側を歩行していた際、後方からきた軽自動車に撥ねられ、車のボンネットに乗り上げ、フロントガラスに頭部を強打したと思われる。病院に搬送され、集中治療が施されたが、後日死亡した。

自転車

事例13	中1年・男	頭部外傷
------	-------	------

部活動を終えヘルメットを着用し自転車で下校中、青信号で自転車横断帯を渡ろうとした際、赤信号で交差点に入ってきた自動車に撥ねられ、約15m飛ばされ近くの信号機支柱に激突した。ヘルメットを着用したまま体をくの字の状態に倒れていた。救急車で病院に搬送されたが、死亡した。

事例14	中2年・男	全身打撲
------	-------	------

自転車で下校中、片側1車線の道路の右カーブを右側通行していた際、前方から来た乗用車と衝突して、頭部及び全身を打った。事故現場を通行した車より通報を受け、すぐに現場に駆けつけ、保護者とともに救急車に同乗し、病院へ同行した。手術を受け、集中治療室で治療を受けたが、約2週間後に死亡した。

3 高等学校における供花料支給対象の死亡の事例

〔Ⅰ〕学校行事

(1) 体育的行事

運動会・体育祭

事例15	高2年・男	頭部外傷
------	-------	------

本生徒は、屋上に掲揚した旗を片付けようと、他の生徒及び教員とともに屋上に上がった。屋上にある出入口の屋上にさらに登り、ポールから旗を降ろし、他の生徒がポールに紐を結び付けている間、本生徒は旗をたたんでいたが、原因は不明であるが、本生徒は屋上床面に落下した。一緒に屋上に上がっていた教員が駆けつけると、本生徒は意識不明の状態に倒れていたため応急手当に当たり、もう1人の生徒が携帯電話で救急車を要請し、病院へ移送した。その後、死亡した。

その他

事例16	高1年・男	頭部外傷
-------------	-------	------

学校行事のウォークラリーに参加中、国道のT字路交差点を青信号で渡っていたが、横断歩道手前で左折し停車していた乗用車にR V車が猛スピードで衝突し、横断中の本生徒が撥ねられ、死亡した。

事例17	高1年・女	頭部外傷
-------------	-------	------

学校行事のウォークラリーに参加中、国道のT字路交差点を青信号で渡っていたが、横断歩道手前で左折し停車していた乗用車にR V車が猛スピードで衝突し、横断中の本生徒が撥ねられ、死亡した。

事例18	高1年・女	頭部外傷
-------------	-------	------

学校行事のウォークラリーに参加中、国道のT字路交差点を青信号で渡っていたが、横断歩道手前で左折し停車していた乗用車にR V車が猛スピードで衝突し、横断中の本生徒が撥ねられ、死亡した。

〔Ⅱ〕 課外指導

(1) 文化的行事

吹奏楽

事例19	高1年・女	窒息死
-------------	-------	-----

吹奏楽部活動中、校内の女子トイレへ行き、首をつって自殺をはかり、意識不明となった。意識がない状態で病院へ搬送されたが、後日死亡した。

〔Ⅲ〕 寄宿舎

事例20	高1年・男	窒息死
-------------	-------	-----

野球部に所属し寮生活を送っていて、当日も練習終了後夕方帰寮し18時までの自由時間中、スパイクを磨いている本生徒に先輩が声をかけていたが、夕食の時間になっても姿がないので寮生で探したところ、寮敷地内の外非常階段で首を吊っている本生徒を生徒2名が発見した。すぐに心肺蘇生を行い、救急車で病院へ搬送したが、病院で死亡した。

〔Ⅳ〕 通学中

(1) 登校中

徒 歩

事例21	高1年・男	頭部外傷
-------------	-------	------

当日文化祭のクラスの催しの準備のために、通常より約1時間早く自宅マンション8階を出て階段を使って登校中、当マンションの6階階段踊り場部分より飛び降りた。救急車で病院へ搬送されたが、死亡した。

事例22	高1年・男	頭部外傷
-------------	-------	------

駅までの通常の経路を徒歩で登校中、横断歩道を横断していた際、乗用車にはねられた。病院に搬送されたが、死亡した。

自転車

事例 23	高1年・男	内臓損傷
--------------	-------	------

自転車で登校中、交差点を青信号で横断していた際、左折してきた大型車の右前部が接触し転倒、右後輪で轢かれてしまった。救急車にて病院に搬送されたが、死亡した。

事例 24	高通1年・男	頭部外傷
--------------	--------	------

野球部寮から駅まで自転車で登校中、軽自動車と正面衝突し頭部を強打した。直ちに救急車で病院へ搬送されたが、後日死亡した。

事例 25	高1年・男	内臓損傷
--------------	-------	------

登校時に最寄りの駅までの自転車通学中、渋滞車両の間を抜けようとして道路を横断した際、左側から来た乗用車にはねられた。事故直後、救急車にて運ばれた医療機関で手当てを受けたが、負傷後約3時間で死亡した。

事例 26	高1年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

部活動の練習のため、自転車で登校中、交差点で軽自動車と衝突した際、飛ばされて頭部を強打し、救急車で搬送されたが死亡した。

事例 27	高2年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で登校中、国道の横断歩道を自転車で横断している際、右から進行してきた乗用車に衝突され受傷した。救急車で病院へ搬送され、集中治療室で治療が続けられたが、死亡した。

事例 28	高2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で道路南側の自転車通行帯を走行中、大型ワゴン車が車道を南に寄せる形で右後方から追突し、転倒し頭部を強打した。病院へ搬送され治療を受けたが、死亡した。

事例 29	高3年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で登校中、右足のペダルを踏み外し、右側ガードレールの端に接触しバランスを崩して一般道路側に転倒した際、後方から走って来た大型ダンプカー（10トン車）に撥ねられ、頭部を打ち付けた。事故直後、救急車で病院に搬送され集中治療室で治療を受けたが、死亡した。

原動機付自転車

事例 30	高2年・男	全身打撲
--------------	-------	------

登校中、国道をバイクで走行、転倒し、投げ出された際、後ろから来た大型トラックに巻き込まれた。意識不明となり、トラック運転手の通報による救急車で病院へ搬送。救急車より連絡を受け職員2名が病院へ急行する。その後、2名の職員より連絡を受け担任とほか1名が病院へ向かう一方、本生徒の家族に連絡した。しかし、救急車が病院到着した時には心肺停止状態になっており、その後死亡した。

自動車

事例 31	高1年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

バスに乗り遅れ、朝のショートホームルームに間に合うように登校しようと、やむを得ず母親の自家用車で登校中、私道から公道に出て右折する際、右からの直進車と衝突した。その時に、後部座席から車道に投げ出され死亡した。

事例 32	高2年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

母親の運転する自動車に登校中、脇道から出てきた軽自動車におつかり反動で道路左側の民

家車庫に衝突後、対向車線に飛び出した際、通りかかった大型トラックが本生徒の乗る車の前部及び助手席に衝突し死亡した。

(2) 下校中

徒 歩

事例 33	高1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

下校中、路線バスから下車し、道路の反対側に迎えに来ていた父親の車に向かって道路を横断していたが、左側から走行してきた乗用車に撥ねられ、道路わき側溝に飛ばされた。頭部等を強打し、意識不明の重体となる。直ちに救急車で病院へ搬送されたが、4日後に死亡した。

事例 34	高1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

夕方遅くに部活動を終了し列車で帰路についた。最寄りの駅より徒歩で帰宅中、信号機や横断歩道のない交差点を横断している際、軽自動車に撥ねられた。病院に搬送されたが、後日死亡した。

事例 35	高1年・男	頸椎損傷
--------------	-------	------

中間テスト終了後、通常の経路を徒歩で下校中、学校の北門を出てバス停に向かう際、スピードを出した車が歩道に乗り上げ、本生徒を撥ね飛ばした。病院に搬送されたが、死亡した。

鉄 道

事例 36	高1年・女	全身打撲
--------------	-------	------

放課後7時まで自習することを認められており、災害発生当日も自習して7時過ぎに下校したが、帰宅途中にある駅のホームから飛び込み、死亡する。

自 転 車

事例 37	高1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で下校中、3.1tトラックに撥ねられ、頭部・胸部を強打した。現場近くの病院で救急処置をした後、心肺停止状態で別病院に搬送されたが、死亡が確認された。

事例 38	高1年・男	全身打撲
--------------	-------	------

自転車で下校中、信号機のない交差点を自転車で横断していた際、西方面から走ってきた自動車と衝突した。直ちに救急車にて病院に搬送されたが、死亡した。

事例 39	高1年・男	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で下校中、高速道路の側道から県道に右折しながら出た際、県道を東進中のワンボックスカーと衝突した。救急車にて病院に搬送されたが、後日死亡した。

事例 40	高2年・男	内臓損傷
--------------	-------	------

自転車で下校中、歩道を走行していた際、乗用車が歩道を乗り越え、本生徒を撥ねた。本生徒は胸部などを強打し、病院に搬送されたが、受傷後、約1時間後に死亡した。

事例 41	高2年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

自転車で下校中、見通しの悪い交差点を横断しようとした際、右方向から来たワゴン車と出会い頭の衝突で転倒、頭部を強打した。事故直後、救急車で病院に搬送し、集中治療室で治療を受けるが意識は戻ることなく、後日死亡した。

事例 42	高3年・女	全身打撲
--------------	-------	------

バスケットボール部活動終了後、夜の時間になって学校を出て自転車で帰宅途中、交差点で4tトラックと衝突し、全身を強く打ち、心肺停止状態となり、病院へ搬送された。搬送先の病院において後日死亡した。

事例 43	高3年・女	頭部外傷
--------------	-------	------

通常の経路を自転車で下校中、青信号で自転車横断帯を直進中、対向車が右折し本生徒を撥ねた。本生徒は転倒して後頭部を強打し、意識不明のまま救急車で搬送されたが、意識は回復することなく死亡した。

(3) 通学に準ずるとき

鉄 道

事例 44	高3年・女	全身打撲
--------------	-------	------

春季遠足のため遊園地へ向かう途中、列車が脱線事故を起こし、被災した。生徒の安否と怪我の状況を把握するため、教職員を派遣する。その列車に同乗していた生徒のうち大多数が病院で手当を受けていることがわかったが、本生徒は死亡した。

事例 45	高3年・女	全身打撲
--------------	-------	------

春季遠足のため遊園地へ向かう途中、列車が脱線事故を起こし、被災した。生徒の安否と怪我の状況を把握するため、教職員を派遣する。その列車に同乗していた生徒のうち大多数が病院で手当を受けていることがわかったが、本生徒は死亡した。